



平成26年度第6回(通算157回) 技術情報交換会のご案内

平成26年度第6回技術情報交換会を下記により開催致します。今回は、新素材として期待されるカーボンナノチューブ複合材料、一般産業用途や自動車用材料として適用が広がる短繊維強化熱可塑プラスチック、急速加熱・急速冷却を実現するツーリングシステム、リサイクル炭素繊維のリユース技術の4件をご紹介します。最高性能を目指して来たのがCFRP発展のひとつの方向ですが、中性能・低コストの材料により広範な用途への展開を実現する技術も革新が進んでいます。

ご講演企業のご厚意により展示物もございます。多数の会員のご参加をお願い致します。

記

1. 日 時:平成27年6月18日(木) 13:00~19:30
2. 会 場:東京大学工学部2号館 213講義室
会場までのアクセスについては次ページの案内地図をご参照下さい。
3. 参加費: 正会員・賛助会員:8,000 円、学生会員:4,000 円、非会員:11,000 円
参加費は『三菱東京 UFJ 銀行 鎌倉支店(普)1276101 先端材料技術協会』
に振込料自己負担でお振込ください。当日会場受付でもお受け致します。
4. 参加申込: 別添の申込用紙に所要事項をご記入の上、メールあるいは FAX にて協会事務局
にお送り下さい。

定員は 80 名ですので、ご確認は下記宛にご連絡下さい。

Tel: 03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp

宛先:先端材料技術協会事務局



【プログラム】

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:00 「紡績性カーボンナノチューブを用いた構造用高分子基複合材料の開発」

静岡大学工学部機械工学科 准教授 島村 佳伸 様

紡績性カーボンナノチューブの出現により、長繊維長のカーボンナノチューブをほぼ一方方向に配向させたまま複合化することが可能となり、その結果、高い強度と剛性を有するカーボンナノチューブ複合材料の開発が可能となりつつある。本講演では、JST 先端的低炭素化技術開発(ALCA)の支援の基に進められてきた技術開発の概要について紹介する。

14:00～14:50 「熱可塑性 CFRP 素材の開発と用途展開」

東レプラスチック精工株式会社新事業開拓室 室長 富岡 和彦 様

現在、炭素繊維強化樹脂(CFRP)は、炭素繊維を熱硬化性樹脂で固めた熱硬化性 CFRP が主流で、航空機やゴルフクラブなどに広く使用されているが、弊社は顧客の要望から炭素繊維と熱可塑性樹脂からなる押出素材(ナイロン6樹脂熱可塑性 CFRP)を新たに開発した。この素材は、(1)高速成形、(2)高リサイクル、(3)低コストに優れ、(4)通常熱可塑性樹脂より高物性で、(5)易加工、(6)2次加工性にも優れていることから、その用途拡大の事例をご紹介します。

14:50～15:20 休憩

15:20～16:10 「急速加熱／急速冷却ツーリングシステム」

極東貿易株式会社新素材部コンポジット課 課長代理 青木 弘至 様

コンポジット成形では、サイクルタイムを縮める要望が大きくなってきている。英国 Surface Generation (SG) 社製の温調機能付金型ツーリングシステム(PtFS)は、従来の方法とは異なる方式(ヒーターと空気／セル毎の温度管理)にて金型表面温度を急速加熱・急速冷却する事により、サイクルタイム短縮を実現する。本PtFSシステムの構造、適用事例、特徴をご紹介します。

16:10～17:00 「リサイクル炭素繊維リユース技術の開発」

宇宙航空研究開発機構 東出 真澄、星光、杉本 直、岩堀 豊 様

日本毛織株式会社

山口 義孝 様

阿波製紙株式会社

近藤 徹 様



Society for the Advancement of Material and Process Engineering

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル4F (株) ガリレオ内 先端材料技術協会
Tel:03-5981-9824 Fax:03-5981-9852 E-mail:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp URL:www.sampejapan.gr.jp

炭素繊維強化プラスチック(CFRP) 廃材のマトリクス分離技術は国内外で広く研究開発されているが、リサイクル炭素繊維のリユース技術は確立していない。リサイクル炭素繊維は分離工程中に絡まり合ってしまうことが多く、長繊維としての再利用は困難である。そこで著者らは、廃 CFRP を裁断してから溶解し、綿状の短繊維を不織布シートに成形する手法を研究開発している。不織布から製造されたリサイクル CFRP の製造法と強度評価結果について報告する。また、本技術を用いて実大の翼端模型の製作を試みたので合わせて紹介する。

17:30~19:30 懇親会 東京大学工学部2号館 展示室
講師、参加者相互の情報交換の場としてご活用下さい。

会場案内



〒113-8654 文京区本郷7-3-1(事務局)
TEL 03-3812-2111(代表)

本郷キャンパス 工学部2号館

[>> 本郷アクセスマップ](#)





技術情報交換会参加申込書

記入日:平成 年 月 日

➤ 平成26年度第6回技術情報交換会に参加します。

お名前: _____

ご所属: _____

E-mail: _____

電話: _____

Fax: _____

領収書発行の都合上、下記の該当項目につき必ずチェック☑をお願いします。

(該当欄に、☑を上書きしてください)

(1) 正会員・賛助会員 学生会員、 非会員

会員番号: _____ 会員番号を必ずご記入下さい。

(2) 銀行振込

振込予定日をご記入下さい。 _____

(ア) 銀行振込に関し請求書が必要な方は、以下の項目を記入の上、E-MAIL(或いは FAX)にて当協会宛お送りください。

① 請求書送付要

住所 〒 _____

先端材料技術協会宛

E-mail: g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp までお送り下さい。

(Fax:03-5981-9852)